

# 令和5年度 教育委員会事務局長「政策宣言」 中間報告

教育委員会事務局長 久々江 豊

## ○ 令和5年度重要事業

事業名	教育振興基本計画の策定とコミュニティ・スクールの導入
目 標	<p>令和5年度を初年度とする第3次射水市総合計画が策定されたことや昨今の教育を取り巻く状況の大きな変化を受け、令和6年度までを計画期間としている射水市教育振興基本計画を見直し、新たな計画を策定します。</p> <p>また、地域と保護者、学校が一体となって子ども達を育む「地域とともにある学校づくり」を目指し、コミュニティ・スクールの導入に向けた準備を進めます。</p>
進捗状況	<p>教育振興基本計画については、学識経験者や各種団体の代表者を委員とする計画策定懇話会を設置し、本市教育における現状と課題の整理を行うなど、策定に向けて取り組みました。</p> <p>また、コミュニティ・スクールについては、専任職員が各地域、学校・PTA、各種団体等の会合に積極的に出向き、制度の理解が深まるよう周知に努めました。</p>
今後の対応	<p>引き続き、計画策定懇話会委員からの幅広い意見を伺いながら、教育振興基本計画の策定に向けて取り組みます。</p> <p>コミュニティ・スクールについては、学校、保護者、地域の共通理解を図りながら、地域の実情に応じた組織となるよう準備を進めます。</p>

事業名	持続可能な部活動、学校の働き方改革の推進
目 標	<p>休日の部活動の地域移行については、運動部活動における実証事業により見えてきた課題を整理しながら実施競技を拡充するとともに、文化部活動についても関係団体と協議を進め、全部活動の地域移行に向けた取組を段階的に進めます。併せて教員の部活動従事に伴う多忙化の解消、学校の働き方改革の推進に努めます。</p>
進捗状況	<p>令和4年度から実施している3競技（柔道、剣道、バスケットボール）に加えて、9月からモデル事業として3競技（卓球、ハンドボール、ソフトテニス）の休日の部活動の地域移行を開始しました。</p>
今後の対応	<p>モデル事業での成果と課題を検証するとともに、未実施の運動部、文化部も含め、関係諸団体と対話を重ねながら、休日の部活動の円滑な地域移行に向けて取り組みます。</p> <p>また、引き続き、学校の働き方改革に努めます。</p>



事業名	市民のスポーツ活動の推進と文化財の保存活用
目 標	<p>現行のスポーツ推進計画が今年度までの計画期間となっていることから、スポーツ環境の変化や課題に的確に対応し、市民の皆さんがライフスタイルに応じてスポーツ活動に参画できるよう、令和6年度を初年度とする新たな計画を策定します。</p> <p>文化財については、国重要無形民俗文化財である放生津八幡宮祭曳山・築山行事の保存活用計画の作成に努めるとともに、県事業に伴う埋蔵文化財の大規模発掘調査を進め埋蔵文化財の保護に努めます。また、市埋蔵文化財センターを活用した出土品公開や体験教室をととして、埋蔵文化財の普及啓発に努めます。</p>
進捗状況	<p>第2次スポーツ推進計画の策定に向け、スポーツに関する意識調査を実施するとともに、現行計画の成果や課題等の整理を行いました。</p> <p>国指定「放生津八幡宮祭の曳山・築山行事」保存活用計画については、文化財保護団体と作成に取り組んでいます。県事業に伴う大規模発掘調査や埋蔵文化財センターを活用した体験教室等を実施し、埋蔵文化財の保護や普及啓発に努めました。</p>
今後の対応	<p>第2次スポーツ推進計画については、本市スポーツ推進審議会において協議を行い、市民ニーズを捉えたスポーツ施策が展開できるよう計画の策定に努めます。</p> <p>国指定「放生津八幡宮祭の曳山・築山行事」保存活用計画の令和6年度認定に向けて、引き続き作成作業を進めます。</p>